JAE

生徒が新メニューを開発！

地域の飲食店 × 学校 協働プロジェクト

ガイドブック

このガイドブックは「第２回 阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト」助成金を活用し作成いたしました。

「飲食店 × 学校の協働プロジェクト」について

学校・飲食店・地域住民が一体となって
多様なルーツや背景の生徒を支えるつながりをつくり、
協働し取り組むきっかけとなることをめざします。

実際に飲食店で販売するメニューを考えていく中で、チーム内で協力したり、お店の方へプレゼンしたり、お客さんや保護者の感想や会話の中に「気づき」があったり…。
自分たちで考え取り組む経験を通して、さまざまな力を身につけていくことができます。

プロジェクトの目的

1. 食を通して自分のくらしを共有し合う機会や話せるきっかけ作り
2. 同じ思いを持った仲間や支えてくれる人の存在に気付きつながりの幅を広げる
3. 実際に考えた内容が販売され、お店やお客さんのもとに届くことで、「役に立った！」「必要とされた！」という経験に

Why 飲食店？

みんなにとって身近な「食」からくらしや文化に触れることで、興味関心や気づきが生まれたり、保護者の“思い”にも触れられる機会となる。

目次

プロジェクトについて	P 1
授業の流れ	P 2
全体の流れ（大人の動き）	P 3
設計のポイント	P 4
ワークシート例	P 5
実践のポイント	P 6
授業を通しての変化	P 7

私たち NPO 法人 JAE では
働く大人と出会い、共に挑戦することで、
児童や生徒自身が将来展望を広げ、
生きる力をつける機会になるよう、
学校・企業の連携をコーディネートしています。

このガイドについて

社会の変化にともない、学校 × 企業や地域連携が進む中、児童生徒の「まなび」を中心におきながら、さまざまなリソースを活用した「協働」プロジェクトが求められています。

本ガイドブックは実際に実施した「飲食店 × 学校の協働プロジェクト」を事例として、協働プロジェクトのポイントを紐解き、学校と地域・企業のよりよい協働のヒントとして活用してもらえたらと思っています。

児童生徒が実際に社会で動き活躍することで、大人や地域も動かし、子どもたちに生きる力をつけるだけでなく、多様な生き方をあと押しできるようなプロジェクトが増えることを願っています。

NPO 法人 JAE

授業の流れ

ミッション

大阪市立東生野中学校１年生 × 海鮮居酒屋てつたろう

いろんな国の家庭料理を居酒屋で販売しよう！

つけたい力

- 伝える力：友達と話す感覚ではなく、普段とは違う相手や大人に対しても相手や状況に合わせて伝える力を育む
- リーダーシップ：１人だけで頑張るのではなく、周りの力を引き出しながらみんなで動く力
- 将来像を描く力：「将来こんなことがしたい！」のきっかけに

活動内容

①チームで考える：料理及びレシピについて意見を出し合いまとめる
②お店へ提案プレゼン：採用された料理の資料はそのまま店内で活用
③お客さんへの働きかけ：店内での声かけ・案内

東生野中のテーマは「チームワーク」！チームでの活動に焦点を当てました。

事前アナウンス

START!

[事前アナウンス]
- 事前アンケート
- チーム決定

ミッション発表

[ミッション発表]
- 企業から会社紹介（お店の思いや生徒に期待することなど）
- チーム内役割分担

企画を進める

[企画を進める]
- 企画検討開始
- チームごとに提案料理のたたき台を考える

中間報告

[中間報告]
- お店に提案内容の案　を発表し、販売に向けたアドバイスやフィードバックをもらう

企画を進める

[企画を進める]
- 最終提案・発表の準備を進める

提案プレゼン

[提案プレゼン]
- お店へ料理の内容や思いを発表する。
- 提案をもとにお店は最終メニューを決定！

- ポスター・メニュー表などの準備

販売期間

[販売期間]
- いよいよお店にメニューが登場！今回のプロジェクトでは、販売期間中に実際に子どもたちがお店で手伝いながらお客さんへのメニューの説明などをしました。

結果報告・ふりかえり

[結果報告・ふりかえり]
- お客さんからのコメントや販売結果などの共有
- お店からの感想、メッセージ
- ふりかえり

GOAL!

point

学校・企業の「思い」のすり合わせが大切！

プロジェクト開始前にプロジェクトの「目的」「ゴール」「思い」を学校と企業でしっかりすりあわせましょう。プロジェクトの事前事後で期待する児童生徒の変容を見据えた上でミッションや全体の流れを設計しましょう。

point

料理を検討する上での条件を伝えておく

○NG な食材、避けて欲しいものなど
○考える時に大切にしてほしい視点や思いなど

なぜその料理？　何を感じてほしい？　味や見た目は？　どういう経緯がある？　量はどうかな？　安心して食べられる？

準備期間から事後も含めた、おとなの動きは・・・！？

学校（先生）の動き

企業の動き

授業準備期間

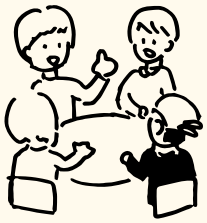
PJの目的・ゴール
スケジュールの設定

学校・企業打ち合わせ

詳細→P４

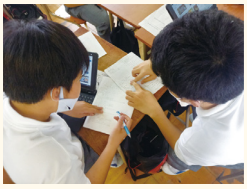
START!

事前学習
・今回の取組みについて説明
・チームビルディング
・「伝える」「聞く」がしやすい環境づくり



企業の思いを提示
・考えてほしい内容
・条件の確認

ミッション発表



調べ学習
・チームで話す、調べる、
家や周りに聞くなど…
提案を考える

企画を進める

進捗・生徒の状況を共有

学校・企業打ち合わせ

中間報告

しっかりフィードバック

ブラッシュアップ
・最終提案に向けて修正・明確化

企画を進める

メニュー内容を検討し始める

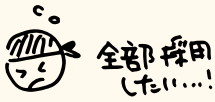
進捗・生徒の状況を共有

学校・企業打ち合わせ

宣伝・告知
・保護者も巻き込み会話のきっかけづくり

提案プレゼン

販売に向けた準備
・ポスター・メニュー表作成
・お客さん向けアンケート作成



宣伝・告知

試作
・価格などの検討

販売期間

販売
・お客さんとの会話を大切に

事後学習
・活動のふりかえり

事後アンケート

事業所とふりかえり

思いをクラスや地域に発表

結果報告・ふりかえり

結果報告への準備
・お客さんのアンケート集計
・ふりかえり など

GOAL!

準備期間

step 01 思いやねらいの確認

学校より
対象となる児童生徒の様子や、
つけたい力、経験、ねらいの共有
企業より
企業側が関わる思いの共有、
協力できる範囲の共有

step 02 アイデア出し

こんな取組みができそう！
を出し合う

step 03 計画検討

実施時期、全体の流れ、役割分担
先生方は児童生徒のフォロー、
企業は状況を共有するなど、
それぞれの役割を確認

プロジェクト開始

point おとなたちのチームビルディング ～おとなたちの姿で結果が変わる！～

●プロジェクトの目的、ゴール、それぞれが関わる思いを共有し合い、役割やめざす状態を確認します。
●児童生徒に関わるおとなたち（教職員、保護者、企業、地域の方々など）もプロジェクトの目的や内容を意識できるよう通信等を活用しながら共有し協力を促しましょう。（家庭内でも会話を促す）

確認ポイント

- 対象となる子どもたちはどんな子たち？
- どんな気づきが生まれたら嬉しい？
- どんな力をつけてもらいたい？
- どんなメッセージを届けたい？

point ミッションの作り方・進め方のコツ

●生徒が「よし！やってやろう！」とわくわくする文言、設定を考える。
●簡単に答えが出ず、チームで悩み検討し、試行錯誤できるような設定に。（おとなたちは見守り支えることが大切）
●プロジェクトのねらい、全体の流れなどを児童生徒たちにも共有し、主体的に動きやすい環境をつくりましょう。（全体のスケジュールを教室に貼る等）

ミッションのレベル感

1人では解決できず、チームで考え周囲の人にも意見をもらう必要が出てくるレベルが望ましいです。

その他の工夫

●年間計画にそって、学校の行事とつなげたり、教科横断型として実施することで、より深く実践的な学びにできます。
●参観日等とつなぎ、保護者や地域の方からもフィードバックをもらう仕掛けを作るなど、先生以外からのフィードバックや応援を頂きながら進めることで、学校内の取組みで完結せず、社会の一員としてさまざまな人と出会いながら活動をする機会にもできます。

ワークシートの例

チームづくりシート

チームづくりシート

（　　組　　班　名前　　）

○チームのメンバーの名前をフルネームで書こう♪

● ＿＿＿＿＿＿＿＿　● ＿＿＿＿＿＿＿＿

● ＿＿＿＿＿＿＿＿　● ＿＿＿＿＿＿＿＿

● ＿＿＿＿＿＿＿＿

○チームの役割分担

役割	内容	名前
マネージャー（チームをまとめる人）	チーム全員で協力して話し合いを進められるよう、メンバーそれぞれの意見を引き出す	
コミュニケーションリーダー	時間内に作業が終われるように声かけや、チームのみんなが気持ち良く作業が出来るように声かけをする	
企画リーダー	みんなで話し合った内容を忘れないように、意見を記録する	
設計リーダー	料理を考える時に、ミッションを忘れずお客さんやお店を考えられているかチェックする	
営業リーダー	プレゼンを考える時に、聞く人にとってわかりやすい内容であるようチェックする	

○チーム名：このチームならではのチーム名を話し合って考えよう！

ドリカムスクールの約束
「あじみ」

①あいての意見をひていしない
②じぶんから意見を言おう！！
③みんなで力を合わせよう！！！

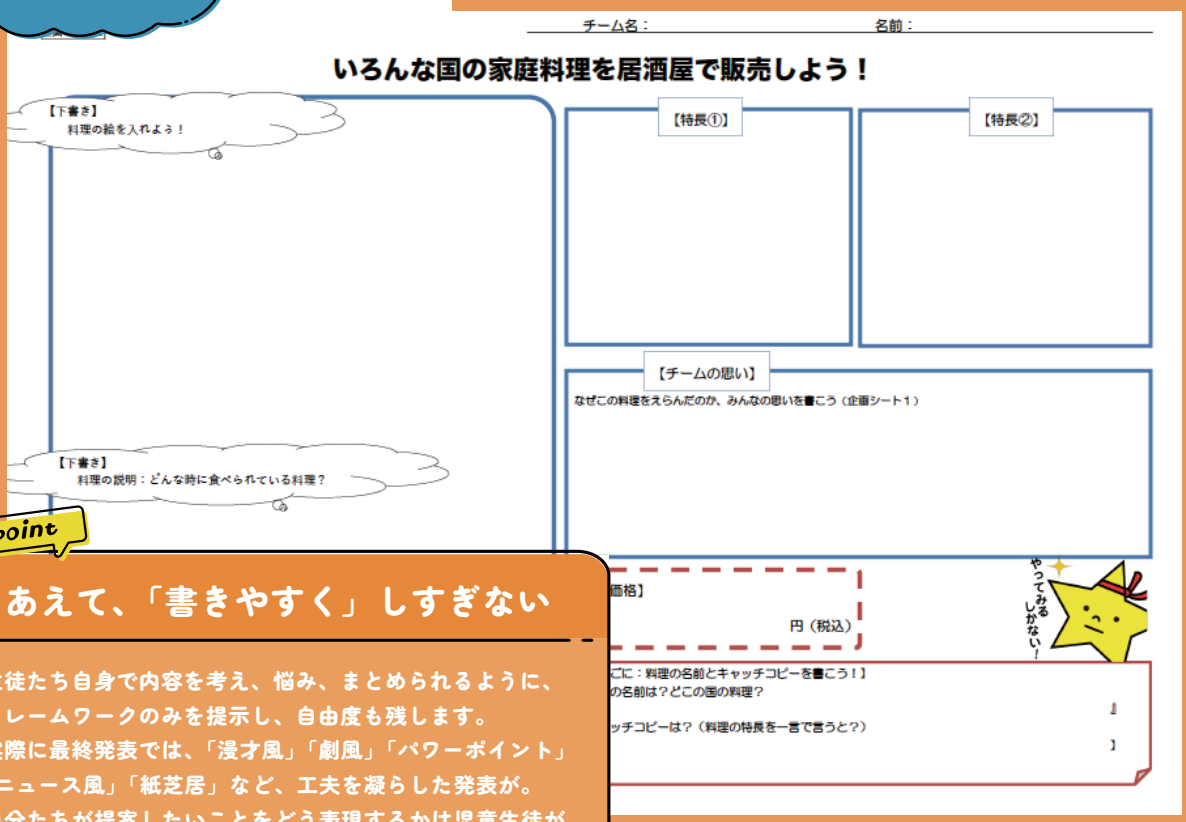
○チームで大切にしたいことを書こう○

point

一人ひとりが強みを生かし主役になれるように！

「班長」だけを決めるのではなく、班員全員がチームの一員として役割を持ちみんなで力を合わせる機会になるよう、それぞれの役割を具体的にしましょう。

企画シート



チーム名：　　名前：

いろんな国の家庭料理を居酒屋で販売しよう！

【下書き】
料理の絵を入れよう！

【特長①】

【特長②】

【チームの思い】
なぜこの料理をえらんだのか、みんなの思いを書こう（企画シート1）

【下書き】
料理の説明：どんな時に食べられている料理？

価格】
円（税込）

やってみるしかない！

ごに：料理の名前とキャッチコピーを書こう！】
の名前は？どこの国の料理？

ッチコピーは？（料理の特長を一言で言うと？）

point

あえて、「書きやすく」しすぎない

生徒たち自身で内容を考え、悩み、まとめられるように、フレームワークのみを提示し、自由度も残します。
実際に最終発表では、「漫才風」「劇風」「パワーポイント」「ニュース風」「紙芝居」など、工夫を凝らした発表が。
自分たちが提案したいことをどう表現するかは児童生徒がチームで決め、考える機会になりました。

生徒と接する中で大切にすること

解を与えるのではなく、生徒が自分で解を生み出せるよう支援する

否定しない	どんなアイデアも否定せず受けとめる
できる思考	生徒の可能性を信じ、「どうしたらできるか」を問いかける
見守る	自分たちで考えることができるよう見守る
ほめる	いいところを見つけてほめ、やる気や自信に

point 生徒からどのような感想や会話が生まれたらいいかを意識して声かけ

●実施する中で「特にこういう事に気づいてほしいな…」という願いは生徒にも適宜共有しましょう。

おとな・生徒ともに
プロジェクトの目的、ゴールを
常に意識することが大切。
「何のためにやっているのか」
意識できるよう声をかけましょう。

おとなの役割は？

point おとなも本気で取り組むと生徒の取り組み方が変わる！

●先生と企業とでそれぞれの役割を認識し、生徒と本気でかかわりましょう。
本気で取り組めば、生徒の本気度もアップ、実りある授業に。
学校・地域間の結びつきもより強いものになるでしょう。

学校	企業
生徒が主体的に考えられるように、入りすぎない	プロとして専門性を生かし時にはきびしく
主にプロセスに対してフィードバック	主に成果物に対してフィードバック

プロジェクトの終了後

point 感想・共有だけで終わらず必ずふりかえりの時間を設ける

●それぞれが感じたことや気づいたことなどをふりかえることで
体験したこと→経験・自分の力 にすることができます。
また、それらを仲間と共有することで自分での気づきが広がる学び合いの場に。

もっと

事後だけでなく
各ポイントでも学んだことを
ふりかえる機会を
持ちましょう。

授業を通しての変化

～それぞれの感想から～

- 料理を通して、人とつながれることを実感
- 生徒の多様な生活背景や文化的ルーツ自体が役に立ったという経験により自己肯定感がアップ！
- 料理を通して、家庭での会話が生まれたことで保護者も教育に携わる機会になった

生徒たちの声

アンケートを作ったことで、お客さんの声が聞けてよかったです。
メキシコの人がアンケートに答えてくれたことで、知らないし顔も見たことないけど、しゃべれたらいいなと思いました。

自分の国の料理を食べてもらってうれしい。
おばあちゃんにこのことを言ったら絶対喜ぶと思います。いろんな国のことをしゃべって、もっともっと料理を食べてもらいたい。

チームで挑戦すると、自分と違った意見を聞くことができ、今ある意見と組み合わせたり、自分では思いつかないような新しい意見をもらえてよかった

最初はめんどいな～とか思ったけど、やればやるほど楽しくなった

先生の声

短期間でできるのかと不安な所もありましたが、**班で意見を出し合いながら楽しく取り組んでいた**姿を見てとても良かったです。

選ばれなかったと悔しそうな生徒を見て**真剣に取り組んだなと**感じることができました。

楽しかったことや悔しかった気持ちを忘れずに、**これからも生徒と一緒に成長していきたい**と思いました。

その後の生徒の変化を見ていても、**リーダーシップが出てきたり、主体性が見られたり、**良い影響を随所に感じる。

お客さんの声

この店に入ってなかったら、一生食べることはなかったかもしれません。**ステキなお料理**を教えてくれてありがとうございました。

料理に込めた思いから、それぞれの料理のエピソードに**あったかい気持ち**になりました。工夫と熱意のこもった味、ごちそう様でした。

お店の方の声

お客様の笑顔と子どもたちの笑顔に挟まれながらの贅沢体験は、**お店やスタッフにとっても素敵な授業**となりました。

子どもたちと教員の方々、その他大勢の方と一緒に取り組めたのは**素晴らしい経験**でした。

＼JAE ホームページ／

制作・問合せ：NPO法人JAE　大阪市北区万歳町 4-12 浪速ビルディング 西館401A号室　☎ 06-6131-3573　✉ info@jae.or.jp
協力：大阪市立東生野中学校・海鮮居酒屋てつたろう・泉南市立鳴滝小学校
助成：第２回 阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト

2023 年 10 月 発行